



トイレトペーパーの購入を！ ご支援よろしくお願ひします



NPO法人支援センターあんしんとは??

新潟県十日町市で障がいのある方々が、健常者と共に住み慣れた地域でいきいきと生活していける仕組みを提供したい・・・そんな目的をもって立ち上がりました。そのためには障がいがあっても自分で働き収入を得、自立することが大変重要と考えています。また、地域での居住の場を確保し、この街で障がいがある方が自立して生活する環境を整えるためにグループホームの運営等も行っています。

ワークセンターあんしんでは、

障がいがあるために就職することが困難な方々が、地域社会において自立した生活を送ることができるように様々な作業を提供しています。そこで働く喜びを実感するとともに、社会の一員としての自覚を促し、就労に向けての職業訓練を行っています。

ワークセンターあんしんの基軸となっているのが、トイレトペーパーの加工・販売です。このトイレトペーパーは新しいパルプを使用せず、再生が難しい雑古紙を再利用しています。障がいのある利用者さんが中心となり、お客様に満足して頂けるよう一生懸命力を合わせて頑張っています。



自立するためには温かい手が必要です。

実際に障がい者が地域で自立した生活を送ることは、現在の社会では簡単な事ではありません。障がい者が自立するには障がい者年金+2～5万円の給与が必要なのです。そのための働く場としてワークセンターあんしんはあるのです。しかし、まだ支えきれているとは言い難いのが現状です。また、地域には救いの手を必要としている方がたくさんいらっしゃいます。障がい者の自立生活を実現していくためには、1日150個トイレトペーパーの生産が増えれば新たに1人の働く場が生まれます。障がいのある利用者さんの生活を支えるために、皆様のお力添えをよろしくお願ひ致します

